

平成20年度

追跡評価結果

平成20年10月

広島県研究開発評価委員会

目 次

1 評価対象及び評価基準	1
(1) 評価の対象	1
(2) 評価基準	1
2 評価結果	3
(1) 評価結果一覧	3
(2) 評価委員会意見	4
課題別追跡評価報告書	5
【参考資料】	
1 広島県研究開発評価委員会設置要綱	75
2 経 緯	76

1 評価対象及び評価基準

県立総合技術研究所の研究課題について、「広島県研究課題評価マニュアル」に基づき追跡評価を実施し、その結果を取りまとめた。

追跡評価は、終了後一定期間が経過した課題について、研究成果の活用状況や波及効果等に関する評価を行い、研究成果が及ぼす社会・経済等への効果を把握し、県民に対する説明責任を果たすとともに、研究開発の企画・立案機能の強化、成果移転の効果的な推進に資することを目的として実施するものである。

追跡評価は、「1）研究の達成度」「2）成果移転の目標達成度」「3）知的財産権の活用状況」「4）研究成果の波及効果」の4項目の視点に立って行う。

評価結果は、今後の県の研究開発事業に関する政策あるいは方針を策定する際の資料となる。

(1) 評価の対象

16年度に終了した研究課題（研究終了後3年を経過した課題） 17課題

(2) 評価基準

(ア) 個別評価基準（総合技術研究所による評価）

① 研究の達成度

- A：成果は移転できるレベルにある。
- B：一部の成果は移転できるレベルにある。
- C：成果は移転できるレベルではない。

② 成果移転の目標達成度

- | | |
|---------------------|-----------------|
| A：目標以上に達成 | 達成度120%以上 |
| B：ほぼ目標どおり達成 | 達成度70%以上～120%未満 |
| C：移転は行ったが、目標を下回っている | 達成度20%以上～70%未満 |
| D：移転は進んでいない | 達成度20%未満 |

③ 知的財産権の活用状況

- A：実施許諾し、事業化されている。
- B：実施許諾を行っている。
- C：実施許諾は行っていない。

④ 研究成果の波及効果

- | | |
|--------------------------|--------------|
| A：波及効果は大きい（効果は十分ある） | 研究予算総額<<波及効果 |
| B：波及効果は認められる（効果は認められる） | 研究予算総額≒波及効果 |
| C：波及効果はほとんど認められない（効果は薄い） | 研究予算総額>>波及効果 |

(イ) 総合判定基準

個別評価結果の適切性を含め、評価委員会として、総合評価を実施した。

区分	内容
S	研究成果が十分に活用され、効果は当初見込みを上回っていると認められる。
A	研究成果が活用され、効果は当初見込みをやや上回っていると認められる。
B	研究成果が活用され、効果は当初見込みどおりであると認められる。
C	研究成果の活用が不十分で、効果は当初見込みをやや下回っていると認められる。
D	研究成果の活用が不十分で、効果は当初見込みを下回ると認められる。

2 評価結果 (1) 評価結果一覧

表2-1 評価結果一覧（課題番号順）

番号	研究課題名	研究機関	個別評価				総合評価結果
			研究の達成度	成果移転の目標達成度	知的財産権の活用状況	研究成果の波及効果	
1	食中毒及び人畜共通感染症に関する疫学的調査	保健環境センター	A	B	C	A	A
2	カキの小型球形ウイルスの人工浄化効果の評価法確立のための迅速定量法開発に関する基礎的研究	保健環境センター	A	B	C	A	A
3	ダイオキシン類による地域環境汚染の実態とその原因解明に関する研究	保健環境センター	A	B	C	B	B
4	廃棄物二次資源の安全性評価に関する研究	保健環境センター	A	B	C	B	B
5	廃棄物最終処分場跡地の有効利用に関する研究	保健環境センター	A	B	C	C	C
6	マイクロマシーニングによる高温用センサの開発	西部工技センター	A	B	C	B	B
7	家庭用インテリジェントサーバを用いた遠隔体調管理システムの開発	西部工技センター	B	C	C	B	C
8	高精度光応用計測技術の開発	東部工技センター	A	B	C	B	B
9	接着構造体のための粘着・接着剤の研究開発	東部工技センター	A	C	C	C	C
10	土壌機能増進対策事業	農業技術センター	B	C	C	C	C
11	特産作物ウイルス病等の診断技術の開発	農業技術センター	A	B	C	B	B
12	耕種的防除法を活用した環境にやさしいカンキツ病害虫防除技術の確立	農業技術センター	B	C	C	C	C
13	アスパラガスの1億円産地を支援する太茎良質品種の育成	農業技術センター	C	D	C	C	D
14	体外受精胚の凍結保存技術の検討	畜産技術センター	A	B	C	B	B
15	定着性魚類種苗生産技術開発	水産海技センター	A	B	C	B	B
16	広島かき養殖種苗安定確保に関する研究	水産海技センター	A	B	C	A	A
17	植生の自然回復困難地における森林造成支援技術の開発	林業技術センター	B	B	C	B	B

表2-2 評価結果一覧（総合評価区分別）

番号	研究課題名	研究機関	個別評価				総合評価結果
			研究の達成度	成果移転の目標達成度	知的財産権の活用状況	研究成果の波及効果	
1	食中毒及び人畜共通感染症に関する疫学的調査	保健環境センター	A	B	C	A	A
2	カキの小型球形ウイルスの人工浄化効果の評価法確立のための迅速定量法開発に関する基礎的研究	保健環境センター	A	B	C	A	A
16	広島かき養殖種苗安定確保に関する研究	水産海技センター	A	B	C	A	A
3	ダイオキシン類による地域環境汚染の実態とその原因解明に関する研究	保健環境センター	A	B	C	B	B
4	廃棄物二次資源の安全性評価に関する研究	保健環境センター	A	B	C	B	B
6	マイクロマシーニングによる高温用センサの開発	西部工技センター	A	B	C	B	B
8	高精度光応用計測技術の開発	東部工技センター	A	B	C	B	B
11	特産作物ウイルス病等の診断技術の開発	農業技術センター	A	B	C	B	B
14	体外受精胚の凍結保存技術の検討	畜産技術センター	A	B	C	B	B
15	定着性魚類種苗生産技術開発	水産海技センター	A	B	C	B	B
17	植生の自然回復困難地における森林造成支援技術の開発	林業技術センター	B	B	C	B	B
5	廃棄物最終処分場跡地の有効利用に関する研究	保健環境センター	A	B	C	C	C
7	家庭用インテリジェントサーバを用いた遠隔体調管理システムの開発	西部工技センター	B	C	C	B	C
9	接着構造体のための粘着・接着剤の研究開発	東部工技センター	A	C	C	C	C
10	土壌機能増進対策事業	農業技術センター	B	C	C	C	C
12	耕種的防除法を活用した環境にやさしいカンキツ病害虫防除技術の確立	農業技術センター	B	C	C	C	C
13	アスパラガスの1億円産地を支援する太茎良質品種の育成	農業技術センター	C	D	C	C	D

(2) 評価委員会意見

1) 総合評価方法について

- 総合評価に当たっては、4項目の個別評価結果を基に総合的に判定した。なお、知的財産権の活用状況については、課題実施当時は知的財産の取得を大きな目標としていなかったことから、実施許諾がないことのみをもって低い評価にならないよう配慮した。

2) 結果概要について

- 評価を行った17課題のうち、標準であるB評価（研究成果が活用され、効果は当初見込みどおりであると認められる課題。）以上の課題は11課題であり、全体の約6割強（19年度は約6割）であった。知的財産権の活用に関わりつつある課題はなかったが、企業の製品化に活用されるなど事業効果が認められる課題及び将来的な事業効果が見込まれる課題については、今後の成果移転に積極的に対応されたい。
- 研究成果の活用が不十分で、効果は当初見込みをやや下回っていると認められるC評価以下の研究課題が6課題あった。今回評価を行った課題は、研究課題の外部評価を導入する前に開始された課題であることもその一因と考えられるが、その原因を十分解析し、今後の研究開発の企画立案や、必要に応じ現在実施中の課題の修正に活用するなど、よりよい研究となるよう努められたい。

3) 今後の対応

- 追跡評価は昨年度から本格的に実施しているが、研究成果の県民への説明責任だけでなく、研究開発マネジメントの改善や研究課題の企画立案能力の向上等に有効である。
- また、今後、知的財産の許諾等、今後大きな移転成果が見込める可能性がある研究課題については、更なる追跡評価を実施されたい。

課題別追跡評価報告書

目 次

番号	研究課題名	研究機関	ページ
1	食中毒及び人畜共通感染症に関する疫学的調査	保健環境センター	7
2	カキの小型球形ウイルスの人工浄化効果の評価法確立のための迅速定量法開発に関する基礎的研究	保健環境センター	11
3	ダイオキシン類による地域環境汚染の実態とその原因解明に関する研究	保健環境センター	15
4	廃棄物二次資源の安全性評価に関する研究	保健環境センター	19
5	廃棄物最終処分場跡地の有効利用に関する研究	保健環境センター	23
6	マイクロマシーニングによる高温用センサの開発	西部工技センター	27
7	家庭用インテリジェントサーバを用いた遠隔体調管理システムの開発	西部工技センター	31
8	高精度光応用計測技術の開発	東部工技センター	35
9	接着構造体のための粘着・接着剤の研究開発	東部工技センター	39
10	土壌機能増進対策事業	農業技術センター	43
11	特産作物ウイルス病等の診断技術の開発	農業技術センター	47
12	耕種的防除法を活用した環境にやさしいカンキツ病害虫防除技術の確立	農業技術センター	51
13	アスパラガスの1億円産地を支援する太茎良質品種の育成	農業技術センター	55
14	体外受精胚の凍結保存技術の検討	畜産技術センター	59
15	定着性魚類種苗生産技術開発	水産海技センター	63
16	広島かき養殖種苗安定確保に関する研究	水産海技センター	67
17	植生の自然回復困難地における森林造成支援技術の開発	林業技術センター	71